

試験結果報告書

生体のストレス低減効果試験

2021年1月29日

合名会社 群馬長石 殿

遠赤外線応用研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

報告書 No.221S- 1080

本件についてのお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

〒542-0081
大阪府中央区南船場4-9-11 順横ビル3F

遠赤外線応用研究会
TEL 06-6251-7619

試験結果報告書

No.221S-1080

2021年1月29日

合名会社 群馬長石 殿



遠赤外線応用研究会
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 ストレス

試料 貴陽石混合の中綿ジャケット

測定機器 アミラーゼモニター<(株)ニプロ製>

試験方法 健常な成年男性(51才)を被験者とし、着用前のストレス度を唾液により測定した。次に、貴陽石混合の中綿ジャケットを着用し、30分後に同様に測定した。

試験結果

生体ストレス度測定値

	着用前	着用30分後	低減値
貴陽石混合の中綿ジャケット	45	30	-15

(単位:KIU/L)

考察 生体の健康度を示す目安の一つであるストレス度は、着用30分後で15低減した。この要因が個人差によるものかどうかは分からないが、少なくとも貴陽石混合の中綿ジャケットを長期に渡って着用することでさらに低減される可能性が示唆された。
尚、測定は各3回ずつ実施し、その平均値とした。
ちなみに、学会でのストレス度の目安は次の通りである。

0~30	KIU/L	ストレスなし
31~45	KIU/L	ややあり
46~60	KIU/L	あり
61~	KIU/L	大いにあり

KIUのK=Kg、I=国際単位、U=ユニット

本報告書は供試試料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

以上